



## PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第 14 回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 5 月 29 日（日）10:00-11:30

会場：オンライン（Zoom）

参加者：6 名（ディベーター 4 名、ジャッジ 1 名、見学 1 名）

### ディベートの様子

対戦表と論題が発表され、ブレイクアウトルームに分かれて準備時間がスタートしました。15 分の準備時間が終了すると、ディベートの開始です。キーノートディベートの論題は、“Penalties should be heavier to deter juvenile crime”（少年犯罪を抑止するために刑罰を重くすべきである。）でした。今回のディベートでは、「刑罰を重くすることによる効果が更生にとってよく働くのか、社会復帰がうまくできず再犯につながるのか」といった争点で議論が行われました。途中、POI（Point of Information）の手も上がり、白熱したディベートとなりました。

ディベートが終わると、お互いに議論したことが実際の社会ではどう現れているのかについてキーノートスピーカにたずねるなど、ディベートをすることで今回のトピックへの関心が強くなった場面も見られました。



ディベートの様子



ディベート後のエアークラップ

キーノートスピーチでは、中京大学法学部の京俊介教授にご登壇いただき、少年犯罪をめぐる現状や、少年犯罪抑止のための厳罰について支持する意見と反対する意見にはどのようなものがあるのかについてご説明いただきました。

KEYNOTE DEBATE  
キーノートディベート 参加者  
皆でディベートして、キーノートで理解を深めよう！  
Keynote Speaker  
京俊介氏  
中京大学法学部  
Moderator  
中川智皓氏  
開催日: 2023/5/28 開催時間: 10:00-11:30  
オンライン: <https://pdpda.org/keynote-debate/14h230528/>  
メール: [online@pdpda.org](mailto:online@pdpda.org) [info@pdpda.org](mailto:info@pdpda.org)  
主催: 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

キーノートスピーカー紹介

質疑応答の時間になると、より詳しく話を聞きたいと質問の手が上がり続けました。「刑務所と少年院で更生の効果が異なるというのは、何の違いによるものなのか。」「年齢に関わらず認知に歪みのある個人が犯罪に走らないようにするためには何が必要なのか。」「責任の所在についてはどのような議論が行われているか。」「犯罪をする前に罰のことを考えないのか。」など多くの質問に対し、一つ一つ、より詳しくご解説いただきました。

ディベートで出てきた「抑止力」「社会復帰と更生」「刑務所での人との関わり」「親の負担」などの論点について、それぞれ学術的な背景を知る機会となりました。



キーノートレクチャーの様子

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ディベートもレクチャーも非常にためになりました！ありがとうございました！
- ・若い人たちの向上心や教養にふれる機会をいただけて大変ありがたかったです。また、本日の論題も面白く、楽しくディベートすることができました。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。日頃感じていたことが、学術的なバックグラウンドやさらに広い知識を得ることができて、非常によかったです。犯罪に対する抑止と責任の所在など分析もあって、なるほどと思いました。ディベート自体は、やはり練習が必要だと思いました。ありがとうございました。
- ・キーノートレクチャーは自分が知らないことを知ることができて、新たな気づきを得ることができました。自分が思っていることと、実際に起こっていることに差があり、自分の考えも改めていきたいと思いました。
- ・刑法についての話を伺うことは大学でもないので今回の話はとても新鮮でした。自身が持っている考えが、実際おこっている事とは違うということを実感した。今後もキーノートレクチャーに参加したい。